

日本臨床化学会関東支部例会 平成 19 年度 第 1 回常任幹事会 議事録

日 時：平成 19 年 11 月 10 日（土） 11：30～12：30

場 所：杏林大学医学部三鷹キャンパス 基礎研究棟 3F 会議室

出席者：村田 満（支部長）大久保 滋夫，菊池 春人，桑 克彦，戸塚 実
芳賀 利一，矢富 裕，山館 周恒，渡邊 卓

欠席者：野村 文夫

（敬省略）

報告・承認事項

（1）新常任幹事紹介

村田新支部長より挨拶、前年度常任幹事 14 名から 11 名の幹事が退任され新常任幹事として 6 名が就任、今年度 9 名が常任幹事となった旨の報告がなされた。

担当 プロジェクト：大久保幹事，芳賀幹事，渡邊幹事、ホームページ：山館幹事，菊池幹事、集会委員：戸塚幹事

（2）プロジェクトについて

大久保幹事より 2 件目の応募があった旨の報告がされた（杏林大学病院 中央臨床検査部 宮城 博幸 テーマ：LC/MS を用いた薬物ライブラリーの作成と中毒症例検体を用いたスクリーニング分析法の検討）。プロジェクト担当幹事により検討され、承認された。又、今後新たにプロジェクトの応募があった際は、メールで各常任幹事へ配信され、持ち回り審議とし採択を求める事で承認された。今回承認された研究テーマについてホームページで公開のうえ、参加を希望する支部会員を募集する。

現在の問題点として、このようなプロジェクト仕組みが関東支部で行われている事の周知が足りないという意見が出た。ホームページにて、プロジェクトについては掲載されているが、もっと若手など多くの方に新たなプロジェクトを積極的に応募してもらうために、例会や総会などでも積極的に宣伝し、常任幹事も自らのまわりで声を掛けていくという事となった。

(3) ホームページについて

平成 19 年 10 月より、前ホームページ担当西堀前幹事より山館幹事へ全て移行された旨の報告がされた。以前のように編集委員会を立ち上げ、ホームページへ更新する内容について審議のうえ更新すると、時間が掛かりすぎてしまうのではないかという意見が出された。タイムリーに更新した方が良いと事から、今後はホームページへ掲載してほしい内容などは菊池幹事（事務局）へ送られ、そこから常任幹事へ内容を配信、持ち回り審議とし、掲載して良いとなった場合山館幹事がホームページの更新を行っていくという形で様子を見る事となった。

今後もニュースレターは続け、過去のものも引き続き見られるようにする。又、関連学会とのリンクもできるようにする。関東支部のホームページカラーが暗いが、本部のホームページの色調が明るくなっているため、イメージアップのためにも明るい画面にする旨の報告がされた。

(4) 支部会誌について

過去数年間支部会誌自体が動いていないのが現状であり、会誌自体続けるかどうかという意見が出された。しかし、会誌を廃止してしまった場合に現在問題となっているプロジェクトの周知がさらに難しくなる可能性も考えられる。又、継続となった場合以前同様にホームページ担当が支部会誌についても担当するのかなど、現状を踏まえた上で、次回幹事会までの継続審議となった。

(5) 平成 20 年度関東支部総会と関東支部例会について

戸塚幹事より、今年 6 月に行われた幹事会にて承認された支部総会・例会について下記の日程で開催される予定との報告がされた。

平成 20 年度 日本臨床化学会関東支部総会 6 月 28 日（土）

総会長：池田 斉 会場：東京医科歯科大学

平成 20 年度 日本臨床化学会関東支部例会 12 月 6 日（土）予定

例会長：戸塚 実 会場：東京医科歯科大学

(6) 平成 21 年度関東支部総会と関東支部例会について

平成 21 年度関東支部総会・例会の会長を決定するにあたりいくつかの意見が出された

- ・会場や会場費の関係で、病院より大学の方が開催しやすいのではないか。
- ・新しく就任された先生はこの会に入って頂くためにも担当して頂いた方がいいのではないか。

- ・関東といっても範囲が広いため、過去に東京以外の埼玉・神奈川・千葉・群馬・栃木・茨木での開催があった事などを考え、東京での参加が難しい会員の為にも東京以外での開催も視野に入れてはどうか。

などの意見を受け、いくつかの推薦が出された。次回の幹事会までに支部長が今回推薦を受けた方へ声掛けを行いつつ、次回幹事会への継続審議とする。